



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月9日

上場会社名 東洋紡株式会社

上場取引所 東

コード番号 3101 URL <https://www.toyobo.co.jp/ir/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹内 郁夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 石丸 園子 TEL 06-6348-3044

四半期報告書提出予定日 2023年11月13日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト、機関投資家向け）

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	199,419	△0.8	2,361	△70.1	1,038	△84.7	2,011	△81.7
2023年3月期第2四半期	201,123	9.4	7,885	△53.9	6,760	△49.2	10,970	13.0

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 4,150百万円 (△69.2%) 2023年3月期第2四半期 13,490百万円 (△0.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	22.82	-
2023年3月期第2四半期	123.35	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	577,201	221,793	33.0	2,160.40
2023年3月期	588,906	221,422	32.2	2,146.46

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 190,331百万円 2023年3月期 189,588百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	40.00	40.00
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	-	-	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	410,000	2.5	10,000	△0.6	6,000	△9.0	1,000	-	11.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 - 社（社名）、除外 - 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	89,048,792株	2023年3月期	89,048,792株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	948,737株	2023年3月期	723,040株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	88,094,277株	2023年3月期2Q	88,931,822株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載しています。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報) .....	10
(重要な後発事象) .....	10
3. 補足情報 .....	11
(1) セグメント別売上・営業利益 .....	11
(2) その他参考指標 .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、米国では金融引き締め政策が続く中、堅調な消費と設備投資に支えられ、経済活動は回復基調を継続しましたが、中国では不動産市場の低迷、消費マインドの回復遅れにより、景気は減速傾向を強めました。一方、国内においては、コロナ禍からの経済の正常化に伴い、景気は緩やかに回復しました。今後、産油国の生産調整や地政学的リスクの高まりによる原燃料価格の上昇、日米金利差の拡大による円安の進行、中国経済の低迷が、景気回復に影響を及ぼすことが懸念されます。

こうした事業環境のもと、液晶偏光子保護フィルム“コスモシャインSRF”は、強い需要に牽引され販売を大きく伸ばしました。一方、セラミックコンデンサ用離型フィルムや包装用フィルムは、需要回復の遅れにより流通在庫の調整が長引き、PCR検査用試薬は、新型コロナウイルス感染症の収束に伴い需要が大幅に減少しました。加えて、一部の製品においては、原燃料価格高騰に対し製品価格の改定が追いつかず、収益性の改善が遅れました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比17億円（0.8%）減の1,994億円となり、営業利益は同55億円（70.1%）減の24億円、経常利益は同57億円（84.7%）減の10億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益30億円を第2四半期連結会計期間において特別利益に計上したこともあり、同90億円（81.7%）減の20億円となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しています。以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しています。

#### （フィルム）

当セグメントは、包装用フィルムの需要の回復が弱く、加えて原燃料価格高騰の影響もあり、増収減益となりました。

包装用フィルムは、原燃料価格高騰に対し製品価格の改定を進めましたが、流通在庫の調整が長引き、第1四半期、第2四半期を通じて荷動きが低調となったことに加え、新機台の立上げ費用が嵩みました。

工業用フィルムは、液晶偏光子保護フィルム“コスモシャインSRF”が強い需要に牽引され販売を大きく伸ばしました。セラミックコンデンサ用離型フィルムは、需要回復の遅れにより、サプライチェーン全体での在庫調整が長引き苦戦しました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比37億円（5.0%）増の781億円、営業利益は同10億円（41.0%）減の14億円となりました。

#### （ライフサイエンス）

当セグメントは、新型コロナウイルス感染症のPCR検査用試薬の販売が大幅に減少したことにより、減収減益となりました。

バイオ事業では、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、PCR検査用試薬の販売が大幅に減少しました。

メディカル事業では、人工腎臓用中空糸膜の販売が堅調に推移しました。

医薬品製造受託事業では、2023年7月にFDAよりWarning Letterが解除され、収益性が改善しました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比27億円（14.2%）減の166億円となり、営業利益は同30億円（55.7%）減の24億円となりました。

## (環境・機能材)

当セグメントは、電子材料での需要減退、原燃料高騰の影響を受け、減収減益となりました。

樹脂・ケミカル事業では、エンジニアリングプラスチックは、国内の自動車生産台数が回復し販売量を確保しました。工業用接着剤“バイロン”は、中国をはじめアジア向けの販売が低調でした。水現像型感光性印刷版用途の光機能材料は、北米向けの販売が低調でした。

環境・ファイバー事業では、環境ソリューションは、リチウムイオン電池セパレータ製造工程で使用されるVOC回収装置が、受注は好調も出荷ずれ込みにより販売が減少しました。高機能ファイバーでは、“ツヌーガ”は耐切創手袋用途の販売回復が遅れました。不織布マテリアルは、衛材用途や土木用途での販売減に加え、原燃料価格高騰の影響を受けました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比32億円(5.8%)減の525億円、営業利益は同18億円(82.6%)減の4億円となりました。

## (機能繊維・商事)

当セグメントは、市況の回復と衣料繊維事業の構造改革の推進により、増収、営業損失縮小となりました。

衣料繊維事業は、不採算商材からの撤退完了と製品価格の改定が進み収益が改善しました。

エアバッグ用基布事業は、自動車生産台数の回復に伴い販売量が増加し、加えて原料価格の上昇に対する製品価格の改定が進み、収益性が改善しました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比3億円(0.7%)増の457億円、営業損失は9億円となりました(前年同期は営業損失11億円)。

## (不動産、その他)

当セグメントでは、不動産、エンジニアリング、情報処理サービス、物流サービス等のインフラ事業は、それぞれ概ね計画どおりに推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比2億円(3.3%)増の66億円、営業利益は同4億円(39.6%)増の14億円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

総資産は、前年度末比117億円(2.0%)減の5,772億円となりました。これは主として設備投資により有形固定資産が増加した一方で、現金及び預金や受取手形及び売掛金が減少したことによります。

負債は、前年度末比121億円(3.3%)減の3,554億円となりました。これは主として社債を償還したことや支払手形及び買掛金が減少したことによります。

純資産は、投資有価証券の売却に伴いその他有価証券評価差額金が減少した一方で、為替換算調整勘定が増加したことなどにより、前年度末比4億円(0.2%)増の2,218億円となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、101億円の収入となりました。主な内容は、減価償却費94億円および売上債権の減少による資金の増加50億円と仕入債務の減少による資金の減少56億円です。

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、269億円の支出となりました。主な内容は、有形及び無形固定資産の取得による支出288億円です。

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、154億円の支出となりました。主な内容は、短期借入金の純減少額220億円および社債の償還による支出100億円、長期借入れによる収入302億円です。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前年度末比308億円減の294億円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想については、最近の動向を踏まえ、2023年5月11日に公表しました通期の連結業績予想を修正しました。詳細は本日(2023年11月9日)公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	60,703	29,917
受取手形及び売掛金	88,427	83,503
契約資産	407	134
電子記録債権	12,295	13,912
商品及び製品	75,343	77,582
仕掛品	16,556	20,790
原材料及び貯蔵品	30,002	29,169
その他	15,672	13,048
貸倒引当金	△271	△345
流動資産合計	299,133	267,711
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	54,515	60,647
機械装置及び運搬具（純額）	46,907	56,241
土地	90,816	90,899
建設仮勘定	39,829	45,847
その他（純額）	8,166	8,191
有形固定資産合計	240,234	261,825
無形固定資産	4,633	4,508
投資その他の資産		
その他	46,037	44,441
貸倒引当金	△1,131	△1,284
投資その他の資産合計	44,906	43,157
固定資産合計	289,773	309,490
資産合計	588,906	577,201

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	53,436	48,998
電子記録債務	5,156	5,146
短期借入金	71,595	49,967
1年内償還予定の社債	10,000	15,000
1年内返済予定の長期借入金	29,472	26,243
引当金	4,956	5,245
その他	27,885	31,066
流動負債合計	202,500	181,664
固定負債		
社債	65,000	50,000
長期借入金	49,099	74,329
再評価に係る繰延税金負債	19,641	19,641
役員退職慰労引当金	239	246
環境対策引当金	12	11
退職給付に係る負債	22,427	21,922
その他	8,566	7,594
固定負債合計	164,984	173,744
負債合計	367,484	355,408
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	51,730	51,730
資本剰余金	32,402	33,187
利益剰余金	70,490	68,967
自己株式	△781	△1,005
株主資本合計	153,840	152,880
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,434	1,475
繰延ヘッジ損益	67	163
土地再評価差額金	41,435	41,435
為替換算調整勘定	△4,556	△1,257
退職給付に係る調整累計額	△4,632	△4,365
その他の包括利益累計額合計	35,748	37,452
非支配株主持分	31,834	31,462
純資産合計	221,422	221,793
負債純資産合計	588,906	577,201

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	201,123	199,419
売上原価	155,942	157,659
売上総利益	45,180	41,760
販売費及び一般管理費	37,296	39,399
営業利益	7,885	2,361
営業外収益		
為替差益	1,164	1,395
その他	822	898
営業外収益合計	1,985	2,293
営業外費用		
支払利息	665	636
その他	2,445	2,980
営業外費用合計	3,110	3,616
経常利益	6,760	1,038
特別利益		
固定資産売却益	1,196	—
投資有価証券売却益	2,700	3,047
受取保険金	5,607	—
特別利益合計	9,503	3,047
特別損失		
固定資産処分損	1,423	787
持分変動損失	—	212
特別損失合計	1,423	999
税金等調整前四半期純利益	14,841	3,086
法人税等	3,872	1,519
四半期純利益	10,968	1,567
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	△444
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,970	2,011



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	10,968	1,567
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,840	△1,878
繰延ヘッジ損益	73	96
為替換算調整勘定	3,724	3,647
退職給付に係る調整額	3	267
持分法適用会社に対する持分相当額	561	451
その他の包括利益合計	2,521	2,584
四半期包括利益	13,490	4,150
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,224	4,170
非支配株主に係る四半期包括利益	266	△20

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	14,841	3,086
減価償却費	9,612	9,395
支払利息	665	636
受取保険金	△5,607	—
売上債権の増減額 (△は増加)	4,496	5,005
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△16,354	△3,924
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,550	△5,568
その他	△2,578	3,105
小計	9,625	11,736
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△3,041	△1,655
保険金の受取額	5,607	—
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>12,191</b>	<b>10,081</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△19,480	△28,772
その他	2,696	1,839
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△16,783</b>	<b>△26,933</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	6,361	△22,022
長期借入れによる収入	22,909	30,208
長期借入金の返済による支出	△19,173	△8,554
社債の償還による支出	—	△10,000
利息の支払額	△672	△628
配当金の支払額	△3,549	△3,527
その他	△664	△900
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>5,213</b>	<b>△15,423</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,052	1,510
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,672	△30,765
現金及び現金同等物の期首残高	26,433	60,204
現金及び現金同等物の四半期末残高	28,106	29,439

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	フィルム	ライフサイ エンス	環境・機能 材	機能繊維・ 商事	不動産	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	74,341	19,309	55,738	45,344	2,026	196,758	4,365	201,123	—	201,123
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	83	17	2,142	284	188	2,714	7,883	10,597	△10,597	—
計	74,424	19,326	57,880	45,628	2,214	199,472	12,248	211,720	△10,597	201,123
セグメント利益 又は損失(△)	2,429	5,412	2,127	△1,127	805	9,647	184	9,831	△1,946	7,885

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物・機械等の設計・施工、情報処理サービス、物流サービス等の事業を含んでいます。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,946百万円には、セグメント間取引消去△38百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,908百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究に係る費用です。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	フィルム	ライフサイ エンス	環境・機能 材	機能繊維・ 商事	不動産	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	78,055	16,559	52,529	45,674	2,000	194,817	4,602	199,419	—	199,419
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,134	7	4,776	591	582	7,090	9,572	16,662	△16,662	—
計	79,189	16,566	57,305	46,264	2,582	201,907	14,175	216,082	△16,662	199,419
セグメント利益 又は損失(△)	1,433	2,395	370	△854	971	4,315	411	4,725	△2,364	2,361

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物・機械等の設計・施工、情報処理サービス、物流サービス等の事業を含んでいます。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,364百万円には、セグメント間取引消去△240百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,124百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究に係る費用です。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、当社グループでは各事業を「収益性」と「成長性」に応じて評価・層別しながら、フィルム、ライフサイエンスおよび環境を特に注力する事業分野として位置付け、各々の位置付けに応じた事業運営を行うため、当社グループの組織体制を変更しました。これに合わせて報告セグメントの区分を見直し、従来の「フィルム・機能マテリアル」、「モビリティ」、「生活・環境」を、「フィルム」、「環境・機能材」、「機能繊維・商事」へ変更しています。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分に基づき作成しています。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 3. 補足情報

## (1) セグメント別売上・営業利益

(注) 第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しています。以下の前連結会計年度の数値は変更後のセグメント区分に組み替えた数値です。ただし、前連結会計年度の下半期及び年度の数値は監査法人の四半期レビュー前の数値です。

また、当連結会計年度における下半期及び年度の数値は、当第2四半期決算発表時点での予想数値です。

(単位：億円)

		売上高				営業利益		
		前連結 会計年度	当連結 会計年度	対前年 増減	増減%	前連結 会計年度	当連結 会計年度	対前年 増減
		自2022. 4. 1 至2023. 3. 31	自2023. 4. 1 至2024. 3. 31			自2022. 4. 1 至2023. 3. 31	自2023. 4. 1 至2024. 3. 31	
フィルム	1 Q	392	390	△ 2	△ 0.4%	25	12	△ 12
	2 Q	352	391	+ 39	+ 11.0%	△ 0	2	+ 2
	上	743	781	+ 37	+ 5.0%	24	14	△ 10
	下	717	769	+ 52	+ 7.3%	△ 8	41	+ 49
	年度	1,461	1,550	+ 89	+ 6.1%	16	55	+ 39
ライフサイエンス	1 Q	87	81	△ 5	△ 6.3%	21	14	△ 8
	2 Q	106	84	△ 22	△ 20.7%	33	10	△ 22
	上	193	166	△ 27	△ 14.2%	54	24	△ 30
	下	188	174	△ 14	△ 7.4%	38	23	△ 15
	年度	381	340	△ 41	△ 10.8%	92	47	△ 45
環境・機能材	1 Q	279	250	△ 29	△ 10.5%	9	△ 7	△ 16
	2 Q	278	276	△ 3	△ 1.0%	12	10	△ 2
	上	557	525	△ 32	△ 5.8%	21	4	△ 18
	下	551	625	+ 74	+ 13.5%	19	26	+ 7
	年度	1,108	1,150	+ 42	+ 3.8%	40	30	△ 10
機能繊維・商事	1 Q	222	222	△ 0	△ 0.1%	△ 4	△ 7	△ 3
	2 Q	232	235	+ 4	+ 1.6%	△ 7	△ 1	+ 6
	上	453	457	+ 3	+ 0.7%	△ 11	△ 9	+ 3
	下	470	473	+ 3	+ 0.7%	△ 14	△ 3	+ 10
	年度	924	930	+ 6	+ 0.7%	△ 25	△ 12	+ 13
不動産・その他	1 Q	31	28	△ 3	△ 9.7%	3	4	+ 1
	2 Q	33	38	+ 5	+ 15.6%	6	10	+ 3
	上	64	66	+ 2	+ 3.3%	10	14	+ 4
	下	62	64	+ 2	+ 3.6%	12	11	△ 1
	年度	126	130	+ 4	+ 3.4%	22	25	+ 3
消去又は全社	1 Q					△ 9	△ 17	△ 8
	2 Q					△ 11	△ 7	+ 4
	上					△ 19	△ 24	△ 4
	下					△ 25	△ 21	+ 4
	年度					△ 45	△ 45	△ 0
合計	1 Q	1,010	971	△ 40	△ 3.9%	46	△ 1	△ 47
	2 Q	1,001	1,024	+ 23	+ 2.3%	33	24	△ 8
	上	2,011	1,994	△ 17	△ 0.8%	79	24	△ 55
	下	1,988	2,106	+ 118	+ 5.9%	22	76	+ 55
	年度	3,999	4,100	+ 101	+ 2.5%	101	100	△ 1

## (2) その他参考指標

## 1. 設備投資額・減価償却費

(単位：億円)

	設備投資額	減価償却費
2021年3月期	233	191
2022年3月期	336	201
2023年3月期	427	190
2024年3月期2Q	300	94

## 2. 有利子負債残高・金融収支

(単位：億円)

	有利子負債残高	金融収支
2021年3月期	1,870	△7
2022年3月期	1,912	△6
2023年3月期	2,294	△9
2024年3月期2Q	2,196	△3

## 3. 研究開発費

(単位：億円)

	研究開発費
2021年3月期	127
2022年3月期	138
2023年3月期	141
2024年3月期2Q	77

## 4. 従業員数

(単位：人)

	従業員数
2021年3月期	10,149
2022年3月期	10,503
2023年3月期	10,885
2024年3月期2Q	10,985